

おたる水族館

昭和33年「北海道博覧会 海の会場」としてオープン。

翌昭和34年「小樽市水族館」となり営業を開始、今年60周年を迎える。

昭和49年には小樽市の運営から現在の株式会社 小樽水族館公社による営業となった。

展示されている生き物は北海道近海や国内外の魚・コツメカワウソ・オタリア・モモイロペリカン・セイウチ・ゴマフアザラシ・フンボルトペンギン・ジェンツーペンギンなど約250種・5000点。イルカやオタリアのショーが人気のテーマパークであると共に、野生動物の研究や資料の収集、保護繁殖などの役割も担っている。

(おたる水族館 公式サイトより)

おたる水族館、冬のショーで一番人気なのは「ペンギンの雪中さんぽ」、おたる水族館冬用PRポスターもジェンツーペンギンの散歩画像です。もともと南極周辺に生息するこのペンギンたちの冬の運動不足解消のために始めたもので、雪道を行進する姿が国内・国外のお客様にも大人気。2018～2019年は営業期間の12月15日から2月24日まで1日3回特設コースを散歩します。

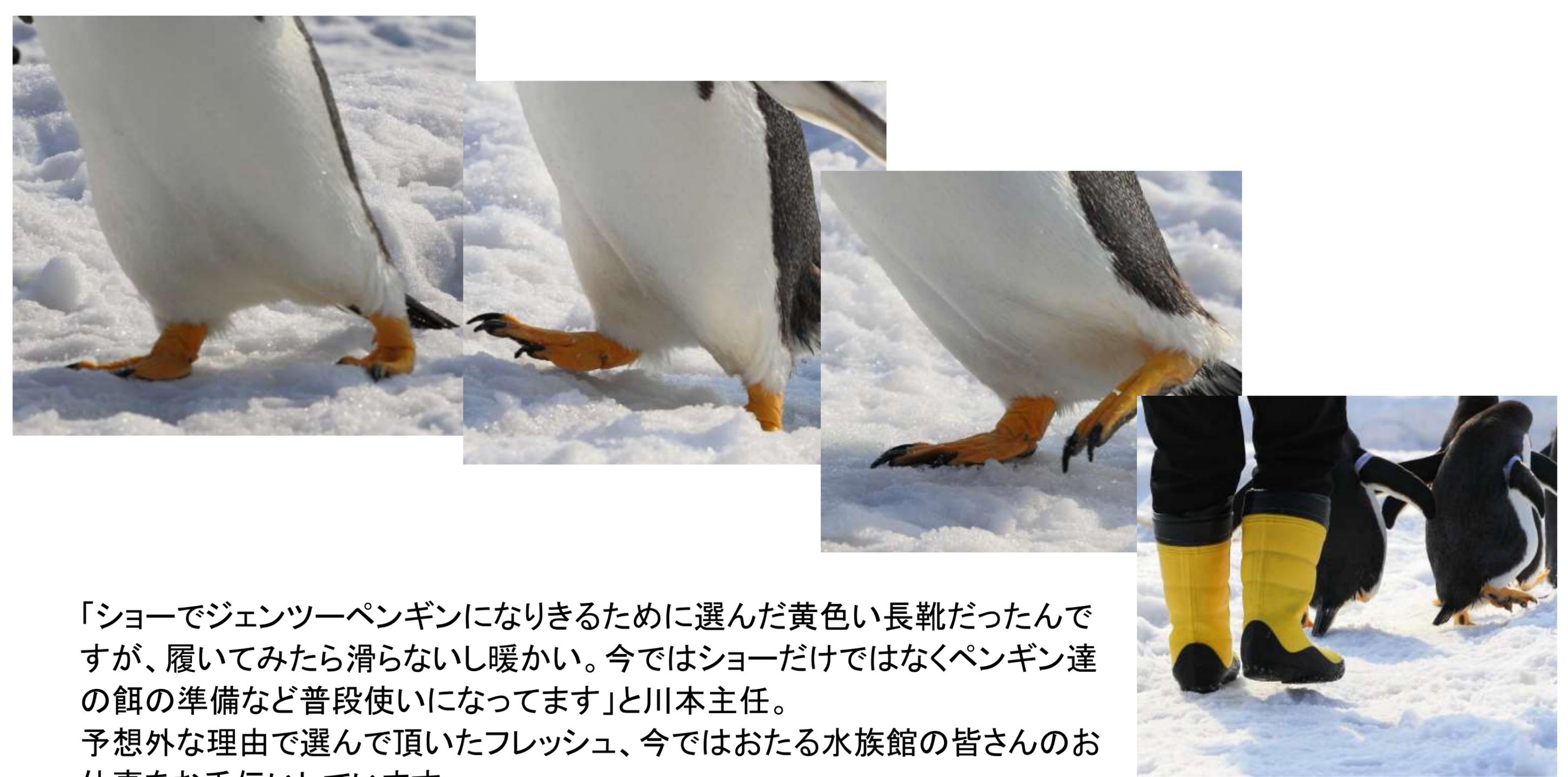
南極周辺に生息する種類なので冷たい道も滑る道も彼らには全く問題無しです。けれどもペンギン達の散歩を手伝うスタッフ6名には東京・茨城・福岡出身の方も。まれに氷点下10℃になることもある「ペンギンの雪中さんぽ」、スタッフの足元を支えるのは、黄色のフレッシュ。滑りにくいソールと3mm×2層の防寒性がお選び頂いたポイント……

ではなく。





「全体が黄色だったことがこの長靴を選んだポイント、ペンギンの散歩を見てくれるお客様に喜んで頂くために私たちもジェンツーペンギンになろうと思いました。帽子はスタッフの手作り、ジャケットも黒で揃えました。でも黄色1色の長靴ってなかなかなくて、お店で見つけた時、『これだっ！』と思いました」と教えてくれたのはスタッフリーダーの川本主任。世界に18種類いるペンギンの中で唯一、黄色い足が特徴なのがジェンツーペンギン。「ジェンツーペンギンは足は黄色いけど足裏は黒、そんなところもそっくり」だそう。



「ショーでジェンツーペンギンになりきるために選んだ黄色い長靴だったんですが、履いてみたら滑らないし暖かい。今ではショーだけではなくペンギン達の餌の準備など普段使いになってます」と川本主任。
予想外な理由で選んで頂いたフレッシュ、今ではおたる水族館の皆さんのお仕事をお手伝いしています。

おたる水族館
〒047-0047
北海道小樽市祝津3丁目303番地
0134-33-1400
<https://otaru-aq.jp/>